

【2026年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
デザイン&ライフコミュニケーション		選択	1	2.3(～24)	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
前川 真奈美	B304	manami.maekawa	木曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多角的な視野を培い、異なる背景や視点を尊重できる、多様な自己表現・コミュニケーションの実践を体験する。</p> <p><概要>本科目は1年次に修得したコミュニケーションの基礎を発展させて、多様なコミュニケーションの実態を体験させて、学生の視野・視座の拡充・柔軟を促す学際的科目群である。この授業では、「デザイン」と「ライフ」というテーマを、社会の観点で見つめ、「自然と〇〇したくなるデザイン (行動デザイン)」がコミュニケーションにあつて如何なる特徴・功罪を具備しているか、様々なワークを通して体感してもらい、自分自身の情緒と感性を豊かにさせ、社会実装への展開を考察していく。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	本科目のテーマについての得意不得意は成績に関係しない。苦手意識を持っていたとしても興味・関心が少しでもあれば積極的に楽しんで受講してもらいたい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	講義中に適時紹介する。				
外部教材	講義中に適時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	デザインとライフに関するコミュニケーションの実際や理論が多様であることを認識し、自身の自己表現を成長させることができる。			HC (1)、(3)、(4)	
②	デザインとライフに関する多様なコミュニケーションの見識を体験して、実際の社会場で表現・応用する準備学習とすることができる。			HC (2)、(6)	
③					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション、“自然と〇〇したくなる”とは何か?	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
2	自然と会話したくなる配置をデザインする①:直感編	講義・GW	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
3	自然と会話したくなる配置をデザインする②:理解・改善編	講義・GW	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
4	自然と会話したくなる配置をデザインする③:実証実験編	講義・GW	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
5	自然と目を向けたくなるポスターをデザインする①:直感編	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
6	自然と目を向けたくなるポスターをデザインする②:理解・改善編	講義・GW	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
7	自然と欲しくなるポスターをデザインする①:直感編	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
8	自然と欲しくなるポスターをデザインする②:理解・改善編	講義・GW	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
9	自然と感情が伝わる非言語情報をデザインする	講義・GW	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
10	自然と行動したくなる仕組みをデザインする①:分析編	講義・GW	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
11	自然と行動したくなる仕組みをデザインする②:設計編	講義・GW	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
12	自然と行動したくなる仕組みをデザインする③:実践報告編	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
13	自然と話しかけたくなる名刺をデザインする①:直感編	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
14	自然と話しかけたくなる名刺をデザインする②:理解・改善編	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
15	自然と話しかけたくなる名刺をデザインする③:実装編	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

試			
---	--	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	0	100	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	5	5
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	25	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	15	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	25	25
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	25	25

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	各回で授業内ワークを課し、その内容および取組みの姿勢を総合的に評価する。これは授業内だけでなく、授業終了後に提出するものも含まれる。	Microsoft Teams を利用して個別にフィードバックを行う。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	該当なし
実践的授業の内容	該当なし
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 本科目は全 15 回で実施するが、当該学年のカリキュラム上、読替による取得単位数は 1 単位となるため、あらかじめ留意すること。 第 5～8 回と第 13～15 回は、PC またはタブレット端末を用いて Canva（無料オンラインデザインツール）を使用する。 本科目では、科目の特性上、生成 AI の利用自体は禁止しない。ただし、自らの思考を求める課題（授業内ワーク等）において、生成 AI の出力結果を未加工のまま提出することは禁止する。これに反した場合は、評価の対象外とする。